

曾於市
Soo CITY
話題の広場
Topics

教育旅行で「農業・食・自然・人とのふれあい体験」



農業体験をした高校生たち



バスを見送る協議会の皆さん

10月17日、大阪から高校生36名が3名毎に市内の12軒の農家等で、曾於市の「農業・食・自然・人とのふれあい」を体験しました。

この日は、雨が降ったり止んだりのあいにくの天気でしたが、高校生たちは、曾於市の景色にまず感動し、農業体験で汗を流したり、新米ご飯を自分たちでおにぎりにしてその美味しさに感動したり、鹿兒島弁にふれあったりと多くの体験をしました。「食事が本当においしかった。明日の自由時間に、また、ここに来たい」と言った生徒もいました。いつも、自分たちの周りには特別なものは「何も無い」と思っていたのですが、他所から来た高校生にとっては「何かある」所だったようです。

帰りのバスから手を振る高校生の姿を見て、安堵感と名残惜しさが募り、「たった数時間を過ごしただけですが、こんな気持ちになるものなのですね」と、曾於市グリーン・ツーリズム協議会会長の持田初穂さんが解散式で話されていました。次の教育旅行の予定は来年の初夏、さらに秋にも予定しています。

投谷八幡宮の王子神幸

10月14日、投谷八幡宮（大隅町宮ヶ原）で、「投谷八幡宮の王子神幸」が行われました。

この行事は投谷八幡宮の秋祭りで、十王子の銚が、伊屋松と大迫の御旅所まで巡行するものです。祭りで使用される面には、室町末期にあたる弘治2年（1556）の墨書があり、その歴史の古さがうかがえます。

当日は、おだやかな秋の日差しに包まれる中、カラフルな布をまとった銚が、田畑での収穫風景に彩りを加えていました。

伝統行事は地域の財産です。みんなで守りつなげていきたいですね。



銚を手に厳かに境内を歩く神主と氏子ら

農業発展のために若い力を

新規就農者支援対策事業認定書交付式



新規就農された2名

10月11日、市役所で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は、曾於市の基幹産業である農業を担う新規就農者を確保支援するため、認定後2年間に渡って毎月5万円から15万円を支援する制度です。

今回は、2名(末吉2名)が認定されました。

式では、市長から一人ずつ認定書が手渡され、激励の言葉があり、就農者の皆さんは、「自分の目標に向かって頑張ります。」と力強く抱負を述べられました。

総合大学「薬草」講座現地研修

10月14日、曾於市総合大学「薬草」講座の中で、霧島市溝辺町にある県民の森緑化センターにて現地研修を行いました。

当日は、県民の森緑化センター主催の「薬草の集い in オータム薬草教室」も開催されており、受講生17名、講師1名も一緒に2班に分かれて、午前には薬草園の案内があり、県薬剤師会の方より園内を散策しながら、実際に薬草を見て説明を受けました。受講生もいつもの授業とは違う環境の中で、熱心にメモを取ったり、質問されていました。午後からは薬草教室が約2時間あり、薬草の効用について学びました。身近にある「草」が「薬」になるので、生活の中うまく活かし、「自分の健康は自分で守る」というあたり前のことを再認識できた一日になりました。



講師の説明を聞きながら散策

平和への願いをこめて



追悼式の様子

10月24日、市戦没者追悼式が大隅文化会館で挙行されました。式には、遺族や関係者など、約400人が参列し、戦争の犠牲になった市出身戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。

池田市長は、式辞の中で、「先の大戦から学びとった多くの教訓を改めて深く心に刻み、世界の恒久平和の確立と心豊かに暮らせるより良い社会の実現のため、全力を尽くしてまいりますことを、お誓い申し上げます。」と述べました。

その後、来賓による「追悼のことば」に続き、代表者による献花と同時に参列者一人ひとりが戦没者の冥福を祈りました。

活気と潤いのある発展を遂げたこの日本国、平和と繁栄の陰には戦争による多くの尊い犠牲があったことを後世に伝えるべきであり、戦火のない平和への誓いを新たにしました。

曾於市の魅力発見ツアー 《歴史・文化財》



橋野六地蔵の説明を熱心に聞く参加者

観光特産開発センターは、10月14日、「曾於市の魅力発見ツアー《歴史・文化財》」を行いました。

見学地は、末吉町の新地六地蔵、平季基の墓、若一王子神社、橋野六地蔵、平松城跡、国合原古戦場、肝付竹友の墓です。今回のツアーで、はじめてこれらの場所を知ったという方が多く、曾於市の奥深い歴史に感心されていました。

開発センターは、今後も歴史・文化財ツアーを企画するとのことです。曾於市にはまだまだ魅力がいっぱいです。皆さんも参加して、新たな発見をしてください。

10月10日はLPガスの日 奉仕活動

10月10日、鹿児島県LPガス協会曾於支部が末吉小学校給食センターで保安点検の奉仕活動を行いました。

これは、近年、業務用施設等でCO中毒事故が多発しているため、事故を未然に防ぎ、安全に器機を使用してもらうことを目的としたものです。

支部長の外山俊明さんは、「今回が初めての試みですが、安全に使用されていることに安心しました。今後も、このような奉仕活動を通じて安全な使用を呼びかけたい」と話されました。



点検作業をするLPガス協会

山形県庄内町阿部亀次翁顕彰会



市長室を訪問された阿部亀次翁顕彰会の皆さん

中谷地区との交流を図るために曾於市を訪れていた阿部亀次翁顕彰会の9名の皆さんが池田市長を敬訪問し、中谷地区むらづくり委員会の皆さんと交流を深めたことを報告されました。

顕彰会と中谷地区との交流は、平成22年の水害で、中谷のびつきよの会が栽培していた麴米「亀の尾」が全滅したことに始まりました。亀の尾の全滅を知った顕彰会の皆さんが、翌年の田植えに間に合うように種籾を贈り、その年の焼耐用の麴米が栽培できたのです。中谷の皆さんは、感謝の気持ちを伝えようと昨年、今年と続けて山形県を訪問し阿部亀次翁顕彰祭に参加しています。

池田市長は、「山形県庄内地方とは、戊申戦争の時代から深いつながりがあります。これからも末永く交流を続けて欲しい」と話されました。

フレンズコンサート in soo vol.5



アンコールで3人揃って「翼をください」

10月27日、大隅文化会館で「フレンズコンサート in soo vol.5」が開催されました。

尾崎亜美さんの「オリビアを聴きながら」、平松愛理さんの「部屋とYシャツと私」、山本潤子さんの「翼をください」などの代表曲を始め、多くの楽曲が披露されました。

3人の素敵な歌声と楽曲に会場は酔いしれていました。「もう一回ライブを開催してほしい」との声もあり、集まったお客さんは、秋の夜長を素敵な音楽と共に過ごされていました。

ボランティアで草払い

10月6日、大隅建設協同組合・県土改連・曾於地区測量設計業協議会・大隅南地域環境保全協議会・NPO 法人水土里ボランティアの皆さん約120名が、大隅南地区調整池の草払いを行いました。

この施設は、地域農地の排水対策として平成20年度まで5年をかけて県営シラス対策事業で整備されたものです。

当日は、早朝6時30分から作業が行われ、約2時間後にはすっかりきれいになりました。環境保全協議会会長の竹元さんから「毎年のご協力に感謝いたします。これからもみんなの財産として大切に管理していきます」とお礼の言葉がありました。



早朝からの作業風景

住良い街造りのお手伝い



作業を終えた曾於市塗装会のみなさん

11月4日、中谷小学校で、曾於市塗装会の皆さんが校舎の看板や、動物小屋などの塗り替え作業をボランティアで行いました。

同会は、市内で塗装業を営む6社の皆さんが加盟し、地域貢献活動の一環として毎年、ボランティアを実施しています。今年は、7月23日にも菅牟田小学校の塗装を行いました。

会長の新留国弘さんは、美しく仕上がった看板をながめながら「今後もボランティア活動を通じて、地域に貢献していきたい」と話されました。